



四 国
えひめ とべ 研部

第56号
平成31年(2019)
2月1日発行

とべ 議会だより



外山^{まえだ たいち}の前田汰一さん（右端・22歳）は両親、祖父と3世代で紅まどんな・甘平・ハウスミカン等を栽培されている柑橘農家です。まだまだ栽培技術など勉強中と、謙虚な若手の農業後継者です。

12月定例会

- 豪雨災害早期復旧へ（補正予算）…………… 2 p
- 障がい福祉の充実 ほか（委員会審査）…………… 3～5 p
- 5議員が町政を問う（一般質問）…………… 6～10 p
- 表決結果一覧表…………… 11 p
- 委員会研修…………… 12～13 p
- 視察研修…………… 14 p
- 議会とまちづくりを語る会…………… 15 p

12月定例会

7月豪雨災害早期復旧へ

	(補正)	(累計)
一般会計	5億5,504万円	99億3,133万円
特別会計	4,099万円	52億1,727万円
企業会計	608万円	15億9,424万円
計	6億 211万円	167億4,284万円

(四捨五入のため合計は一致しません)

12月6日から14日までの9日間開催した。平成29年度水道事業会計剰余金の処分1件を可決。平成29年度各会計決算10件を認定。専決処分の報告1件を受理。条例の一部改正4件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算4件、企業会計補正予算2件を可決。請願1件を継続審査とした。

補正予算の主なもの



町道宮内塩ヶ森線 他24件工事費
2億56万円



認定こども園「愛育幼稚園」整備交付金
1,490万円



砥部こども園倉庫建築工事費 859万円



砥部焼伝統産業会館来客用駐車場整備事業費
7,582万円

障がい福祉の充実へ

◎平成30年度一般会計補正予算

佐々木(公) 心身障害者扶養共済制度の加入者数は？

A 14人が加入。

松崎 障害福祉サービス及び障害児通所支援の増額予算を計上しているが、その要因は？

A 1人あたりの利用回数増により支給額が増加した。

佐々木(隆) 老人憩いの家について、解体工事期間中、現在入っている「ハートピアみなみ」への弊害は、また解体後のスペースの活用方法は？

A 業務への弊害はないと見込んでいる。南風会が作業所を建てる予定で、町有地を貸す。

佐々木(隆) 愛育幼稚園の工事現場前を児童が通学するが、ガードマンがついておらず危険との意見があったが？

A 大規模な搬入時や頻繁に車の出入りがある場合はガードマンをつけるよう要望した。



愛育幼稚園 完成予想図（平成31年3月完成予定）

井上 ファミリー・サポート・センター事業の利用状況は？

A 本年10月末の利用状況は864件で、平成29年度は年間で1455件。

◎平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算

井上 パソコンの更新は老朽化によるものか？

A 一定期間経過すれば老朽化

のため更新する。

◎その他

佐々木(公) 老人クラブ連合会との「議会とまちづくりを語る会」（15ページ参照）において、総合福祉センター（仮称）内の老人憩いの家にストレッチ器具をおいてほしいとの意見があったが？

A フィットネスバイクやウォーキングベルト等の設置を検討中。

三谷 教員に配布した道徳教育のCDの利用状況は？

A 道徳教育に十分活用するよう指導しているが、完全には活用できていない。

佐々木(隆) 赤ちゃんふれあい体験事業の内容は？

A 赤ちゃんとその母親を、中学校や松山南高等学校砥部分校に派遣してもらい、ふれあいをさせていた。内容で、「ぽっかぽか」に事業委託をしている。女子生徒だけでなく男子生徒も体験している。

平成30年度補正予算

— 主な項目 —

◆ 一般会計 ◆

○ 民生費

・ 障害者自立支援給付費支給事業費 4211万円

・ 認定こども園施設整備交付金 1490万円

・ 児童手当費 1280万円

・ 総合福祉センター（仮称）建設事業費 407万円

・ 老人憩いの家運営事業費 96万円

・ 心身障害者扶養共済事業費 38万円

・ ファミリー・サポート・センター利用料補助金 18万円

○ 教育費

・ 文化財保護事業費 5万円

◆ 特別会計 ◆

○ 国民健康保険事業

・ 国保システム改修委託料 27万円

○ 後期高齢者医療

・ 機械備品購入費 35万円

天神集中合併浄化槽

町管理に

条例の一部改正

◎浄化槽保守点検および施設管理に関する条例

原田 天神集中合併浄化槽の積立金約2800万円の中で修繕をしているが、今までの5施設と同じように2000万円ほどは残るのか？
A すべて修繕に充ててしまうので一切残らない。



天神集中合併浄化槽

◎県営土地改良事業分担金の賦課徴収に関する条例

松崎 銚子ダムの受益地の他にどういう所があるのか。また町全体で何ヘクタールあり、特別徴収金は1ヘクタールあたりいくらか？
A 農地の面積は各々受益地であり、銚子ダムについては銚子ダムの受益地となる。特別徴収金は北川毛地区の農地中間管理機構の場合、事業費が10ヘクタールで約7億円、町費が1割で7000万円となるので、10アールあたり70万円となる予定。

◎平成30年度一般会計補正予算

中島 特定空家について、最終的に解体となると思うが、審議会での略式代執行の決定、実行までの期間は？
A 審議会から始めて約1年かかった。最終的に解体するの

は3月中旬以降になる予定。

森永 砥部焼伝統産業会館駐車場用地の造成費はどれくらいか？
A 4700万円程度で、31年度予算計上を予定している。

◎平成30年度水道事業会計補正予算

山口 水道の民営化について、町はどう考えているのか？
A 本町は、県下20市町32企業体のうち、下から6番目で、10トンまで939・6円と安く、今のところ民間委託は考えていない。

◎その他

政岡 賦課徴収に関する条例で、北川毛の土地造成の説明があったが、全員の賛成を得られていないと聞いている。その後どうなっているのか？
A 同意を得られていない方がまだ数名いる。

請願第2号

○主要農作物種子法の復活を求める請願
 (継続審査)

平成30年度補正予算

— 主な項目 —

◆ 一般会計 ◆

○総務費	177万円
・ふるさと納税推進費	
○衛生費	
・美化センター管理運営費	732万円
○農林水産業費	
・被災農業者向け経営体育成支援事業費補助金	185万円
○商工費	
・砥部焼伝統産業会館駐車場用地購入費	7482万円
○土木費	
・道路管理者負担金	300万円
○住宅費	
・特定空家等除却費	217万円
○災害復旧費	
・公共土木施設災害復旧工事	2億円
・農業用施設災害復旧工事	1億2000万円
・林道災害復旧工事	1070万円
・公共土木施設災害復旧工事測量調査設計委託料	300万円
・農業用施設災害復旧工事測量調査設計委託料	200万円

農業用施設災害復旧費
地元負担金大幅軽減へ

条例の一部改正

町議会議員及び特別職の期末手当の額並びに職員の給与の額の改定

◎町職員の給与に関する条例

東 地域手当は現在、医療職に支給していて、町長が規則で定める地域に在勤する職員に支給するとあるが、広田地域のことは？

A 今までは国保診療所の医師の人材確保のための手当であつたが、今後は東京など民間賃金の高い地域への派遣や出向等によって勤務する場合も支給する。

◎平成30年度一般会計補正予算

菊池 庁舎の太陽光発電が頻繁に故障するのであれば、設備一式を取り替えるべきでは？
A パワーコンディショナーの冷却ファンが耐用年数を過

ぎ、頻繁に故障しているため、修繕費を計上している。

松崎 松山圏域連携事業における文化施設無料招待事業の目的と施設名は？

A 若者の利用促進で、今回は久万高原町と砥部町で実施する。久万美術館、面河山岳博物館、天体観測館、坂村真民記念館、伝統産業会館である。

柿本 歳入の農業用施設現年災害復旧費地元負担金1250万円は、激甚災害に指定されているため、大幅に減額されるのでは？

A 現在、負担軽減申請中ですが結果は出ていないが、ほぼ0になる予定。

菊池 県議選における期日前投票所を麻生小学校区の商業施設に設置しては？

A 現在は高尾田集会所の1カ

所である。総合福祉センターが完成すれば、高尾田集会所から変更したい。

◎その他

松崎 7月豪雨後、被災地へ町職員の派遣やボランティアとして何人参加したのか？

A 8月22日までに西予市へ職員派遣延べ59人、大洲市と宇和島市へ保健師延べ12人、現在、西予市に1人派遣しており、交代しながら3月末まで派遣予定である。宇和島市と大洲市と西予市に対し、県が派遣市町を調整し、砥部町と伊予市と西条市は、西予市に市町連携で応援体制ができて



ボランティア作業中



(台座完成イメージ図)

平成30年度補正予算

— 主な項目 —

◆ 一般会計 ◆

○総務費

- ・県議会議員選挙費 344万円
- ・念ずれば花ひらく百番碑台座整備工事 72万円
- ・庁舎太陽光発電設備修繕料 19万円

障子山の森林公園化を

町長／余裕ができれば検討



にしおか としまさ
西岡 利昌 議員

西岡

障子山の山頂付近の、県が自然公園に指定している部分を町が購入し、自然公園として名実ともに高齢者や子どもたちが森林浴を楽しみ、道後平野や瀬戸内海を一望できるようなスポットとして、体も心もリフレッシュできる場所にし、子どもたちが遠足などでも行けるようにしてほしい。自然公園の区域内を森林公園にすることに対して、どのような考えか。

町長

平成28年6月議会でもお答えしたが、障子山林道と山頂との中間付近に、平成33年度完成予定の県営林道を整備中であり、完成すると山頂までの距離が縮まる。その時点で、これは県立の自然公園になっており、登山道の整備や山頂付近で展望できるような施設の建

設については、町が勝手にはできないので、県と十分協議をしたい。



工事が進む障子山林道

西岡

もう一歩踏み込んで、道路と並行して交渉する考えは。

町長

障子山を展望できるような場所にすることは素晴らしいが、町には他にもやらなくてはならない事業があるので、十分余裕ができれば検討したい。

児童のいじめは

教育長／5件を確認

西岡

パソコンや携帯電話を使った誹謗中傷などのいじめについては、直接対話をする機会が減り、助け合って行動することが苦手な子どもが増えていることが原因の一つではないかと考える。そこで、各小学校近くの農地を借りて学校農園とし、4年生以上の児童と保護者がサツマイモ、ジャガイモ、その他農産物を作り、協力して助け合う体験をして、いじめ防止に役立ててはどうか。

教育長

パソコンや携帯電話を使いたいじめ問題は本町も例外ではなく、平成25年から29年までの5年間で5件を確認している。町内の小・中学校では体験活動として、近隣の農地などを借用して、栽培・収穫を行っている。また収穫した作物を使って、保護者や地域の方々の協力を得て料理を作り、食事をする活動を行っている学校もある。



体験活動



おおひら ひろこ
大平 弘子 議員

児童虐待への対応は

町長／児童の安全確保を第一に

大平

児童虐待は大きく分けて「身体的虐待」「心理的虐待」「育児放棄」「性的虐待」の4つに分類され、平成29年度の児童虐待の相談件数は、児童虐待防止法が施行される前の平成11年度に比べて7倍以上増加している。町として①児童虐待の発生予防、②児童虐待発生時の対応、③被虐待児童への自立支援に力をつけている。

町長

本町における児童虐待への取り組みとして、要保護児童対策地域協議会を設置し、早期発見や適切な保護に努めている。

①保健師・保育士の職員により、乳児及び保護者の心身の状況・養育環境の把握、助言や支援を行う乳児家庭全戸訪問事業により予防に努めている。
②通報があった際には

大平

通告受理後48時間以内に児童の安全を確保し、状況に応じて警察や児童相談所、学校等の関係機関と連携して、安全確保を第一に、必要に応じて一時保護を実施。
③保護者の病気等の理由で自宅での養育環境が整わず、児童の安全確保ができない場合は児童養護施設への入所や里親委託、ファミリーホームへの委託等を行っている。
今後も関係機関と連携し、適切な児童虐待対応に努める。

課長

189番については厚生労働省の管轄で、対応件数は把握していない。

子ども・子育て支援を

町長／専門的な支援を実施

大平

子ども・子育て支援は、妊娠期・出産期・育児期まで切れ目のない支援が必要である。町が行っている乳児家庭全戸訪問事業、子育て援助活動支援事業、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業、養育支援事業などの事業で、保健師・助産師・看護師・ソーシャルワーカーは何人雇用しているか。また事業の周知及び里親、乳児院や養子縁組などの支援については。

町長

保険健康課に8人の保健師、子育て支援課に2人の保育士を専門職員として雇用している。また事業の周知に

大平

については、妊娠・出生届の提出時や乳幼児向けの各種健診時での案内のほか、広報紙でも周知している。里親が必要な家庭への支援については、子育て支援課を相談窓口とし、緊急性がある場合や町での対応が困難なケースでは児童相談所へ送致し、より専門的な支援を行っている。

町長

里親、乳児院、養子縁組など課題が多いが、弱い子どもたちのために今後も努力してほしい。
子どもは地域の宝であり、健やかに成長できるよう物心両面でしっかりサポートする。



啓発パンフレット

小児がんの早期発見を

町長／精密検査の受診率向上に努める



きくち しんじ 議員
菊池 伸二

菊池

我が国では、小児の病気による死亡原因の第1位はがんとなっており、特に小児がんの患者と家族は、発育や教育への対応など、成人のがん患者とは異なる課題を抱えている。

年間2000〜2500人が小児がんと診断されているが、小児がんを扱う医療施設は全国に200程度と少なく、患者は発見の遅れなどで適切な医療を受けられないことが懸念されている。網膜芽細胞腫を含む小児がんの早期発見について、町での取り組みは。

町長

小児がんに特化した早期発見の取り組みは行っていないが、小児科医師等の診



子育て支援マップ

菊池

察を含む集団検診を行っている。また県内の医療機関で個別検診が受けられる受診券も発行しており、がんを含む患者の早期発見に努めている。

町での小児がんの患者数は、また、その対応は。

課長

30年3月現在3人で、全額助成をしている。

高齢難聴者・聴覚障がい者への対応は

町長／親切丁寧な対応に努めている

菊池

加齢による聴覚の低下は、誰にでも起こりうる現象であり、高齢者だけではなく、聴覚障がいのある方への対応は、行政サービスとして考えていく課題だと思ふ。

町長

単に大きな声で話すだけではなく、必要に応じて筆談を交えるなど、親切丁寧な窓口対応に努めている。

菊池

身体障がい保持者の内、聴覚障がいがある方は等級ごとに何人いるのか、また、高齢難聴者、聴覚障がい者に対して、窓口ではどのような対応をしている

のか。

町長

身体障がい者手帳保持者847人の内、聴覚に障がいのある方の等級別人数は1級6人、2級19人、3級2人、4級8人、6級17

人で計52人。窓口対応については、筆談を交えるなど状況に応じて親切丁寧な対応に努めており、聴覚障がい者支援として、補聴器などの購入支給や手話奉仕員の養成講座の開催を行っている。



庁舎受付窓口



柿本 正 議員
かきもと ただし

通谷池一周歩道の整備を

町長／こどもの城魅力向上

検討委員会へ提言したい

柿本

えひめこどもの城は開園20年を迎え老朽化しており、県では魅力向上検討委員会で検討されている。現在こどもの城側の外周に通路はないため、癒される水辺空間を創出すれば、魅力ある施設に変わっていく。一方、町道側では多くの町民が散歩しており、周回が可能となれば、魅力ある憩いの場となるが、整備する考えはないか。

町長

えひめこどもの城魅力向上検討委員会へは副町長が委員として参画しており、老朽化した遊具の見直しや認知度アップ、来園者増加につながる取り組みなど、ハード・ソフト両面から議論がされている。県有地側の遊歩道や休憩所等の設置、周回が可能

なゲートの設置については、今後、当委員会にしっかりと提言する。

柿本

実質未施工区間は、創作工房から南の冒険ステーションまでの約500mである。土砂の掘削、搬出のみで施工は可能だと思うので、安価な工事費で実現できることも併せて進言してほしい。

副町長

間もなく2回目の委員会があるので、しっかりと提言していく。



こどもの城側 歩道要望地

道の駅整備の市場動向調査を

町長／今後の検討課題としたい

柿本

現在、町内施設には、年間約190万人が訪れている。魅力ある施設が他にも必要では。例えば道の駅は、産業振興や福祉・防災機能強化等地方創生の拠点づくりが期待され、新たな雇用も生まれる。まず市場動向調査を行い、競合他社の位置や規模、商店街等への影響を調査し、実現の可能性を検証しては。

町長

平成28年度地方創生加速化交付金を活用し、道の駅ひろた周辺の魅力を向上させ、来客数の増加に取り組んでいるところである。町内に、もう1カ所道の駅を整備すれば広田

地域への集客が鈍ることも予想されるため、今ある道の駅エリアを活性化させることが重要で、新たな道の駅を設置するための市場動向調査は考えていない。

柿本

県内には28カ所の道の駅があり、地域経済に貢献し、波及効果も大きい。大消費地松山市に隣接しており、住民アンケートや道の駅ひろたへの影響をふまえた調査を行い、結果、採算ベースに乗るとなれば、直営以外に企業も興味を示すと思うが。

町長

現在、道の駅は広田と久万高原町にある。

柿本

道の駅でもスーパーマーケット化している所があり、民間企業や地域経済との関係があるので、今後の検討課題としたい。

町長

※官民共同ファンドなど資金調達の選択肢が広がってくるので、33号沿線で新たな需要の有無を調査する考えはないか。

十分検討する。

※官民共同ファンドとは

特定の目的のため、政府と民間が出資して融資を行い、その配当や収益を分配する機関のこと。



さ さ き た か お
佐々木 隆雄 議員

職員の休日出勤対応は

町長／代休及び振り替えが望ましい

佐々木(隆)

町職員の休日出勤の対応は、代休取得か休日勤務手当支給になるが、平成29年度の実態はどうか。また、代休取得か休日勤務手当のどちらが望ましいと考えるのか。

町長

祝日や年末年始の休日については代休制度が設けられており、土曜日及び日曜日の休日出勤については、週休日の振り替えが原則となっている。平成29年度においても同様に対応しているが、休日イベントが多い部署や、西日本豪雨のような災害時においては、一部休日勤務手当による対応もある。労働時間の短縮という週休2日制の趣旨や、職員の休日数の確保及び健康・福祉への配慮という観点から、代休及び振り替えによる対応が望ましい。

小中学校教職員の勤務実態は

教育長／全国平均より若干長い

佐々木(隆)

国の教員勤務実態調査によると、教員は月曜日から金曜日まで、毎日平均12時間近く、土・日曜日も働いている。この長時間労働が社会問題となり、政府も「教員の長時間勤務

の早急な是正」を掲げている。町内小中学校教職員の勤務実態はどうか。また、長時間勤務の背景は何か。

教育長

平成29年度に麻生小学校、宮内小学校、砥部中学校を対象に教員勤務実態調査を実施しており、小学校が11時間25分、中学校が11時間49分で、全国平均より若干長い勤務時間となっている。長時間勤務の背景について、詳細分析は行っていない。全国調査と同様、児童等に要する時間の増加、教職員定数の減少に伴う校務分掌の割り当て数の増加とともに、保護者や地域への対応、行政からの調査業務の増加、加えて中学校においては部活動指導が主な要因と考える。

図書館での書籍の

写真撮影を認めては

教育長／利用者の迷惑とならない方法で検討

佐々木(隆)

県立図書館では、手続きをすれば写真撮影ができる。町の図書館でも認めてほしいとの声がある。

教育長

現在、写真撮影を許可していない理由は、他の利用者の迷惑にならないよう、静かな読書環境を保ちたいとい

うことからである。県立図書館では、申込書を出し図書館の承認を得たのち、他の利用者にも迷惑とならないよう図書館が指定する場所、職員の指示に従って撮影を認めている。今後、利用者の利便性を図るためにも、他の利用者の迷惑とならないような方法で撮影ができるよう、検討したい。



図書館での撮影

議案等議員別表決結果一覧表

平成30年

第4回定例会

【会期 12/ 6 ~12/14】

平成30年

第4回定例会

【会期 12/ 6～12/14】

番号	件名	1 柿 本 正	2 佐 々 木 公 博	3 原 田 公 夫	4 東 勝 一	5 菊 池 伸 二	6 佐 々 木 隆 雄	7 森 永 茂 男	8 松 崎 浩 司	9 大 平 弘 子	10 西 岡 利 昌	11 政 岡 洋 三 郎	12 山 口 元 之	13 井 上 洋 一	14 中 島 博 志	15 平 岡 文 男	16 三 谷 喜 好	議決結果	議決日
議案 第43号	平成29年度砥部町水道事業会計剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12 月 6 日
認定 第1号	平成29年度砥部町一般会計決算認定について																	認定	
認定 第2号	平成29年度砥部町国民健康保険事業特別会計決算認定について																		
認定 第3号	平成29年度砥部町後期高齢者医療特別会計決算認定について																		
認定 第4号	平成29年度砥部町介護保険事業特別会計決算認定について																		
認定 第5号	平成29年度砥部町とべの館特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
認定 第6号	平成29年度砥部町とべ温泉特別会計決算認定について																		
認定 第7号	平成29年度砥部町農業集落排水特別会計決算認定について																		
認定 第8号	平成29年度砥部町浄化槽特別会計決算認定について																		
認定 第9号	平成29年度砥部町公共下水道事業会計決算認定について																		
認定 第10号	平成29年度砥部町水道事業会計決算認定について								議										
議案 第45号	砥部町職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12 月 14 日
議案 第46号	砥部町浄化槽保守点検及び施設管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第47号	砥部町県営土地改良事業分担金の賦課徴収に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第48号	砥部町道路占用料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第49号	平成30年度砥部町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第50号	平成30年度砥部町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第51号	平成30年度砥部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第52号	平成30年度砥部町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第53号	平成30年度砥部町浄化槽特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第54号	平成30年度砥部町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
議案 第55号	平成30年度砥部町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
請願 第2号	主要農作物種子法の復活を求める請願	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	継続 審査	

(○：賛成)

研修報告

厚生文教常任委員会



東川町での研修風景

10月24日
ひがしかわちよう
北海道東川町
(交流施設せんとぴゅあ)
せんとぴゅあは文化交流
(大雪山・写真・家具等)の
場で、住民要望による図書
館や日本語学校の運営等を行
っています。
東川町では宅地分譲業・
2世帯居住推進事業・起業
家支援事業などにより定住
者確保に取り組んでいます。
また、「写真の町」とし
て写真フェスティバル・写
真甲子園を開催し、次世代
を担う若者同士が写真を通
じて国際交流を推進してい
ます。

両町とも自然環境を有効利
用し、次世代を担う子どもた
ちが興味を持ち育ちたい町づ
くり、親が自然豊かな環境の
中で子どもを育てたいと思え
る取り組みを実践しており、
大変参考となりました。

自然豊かな環境を活用して
「食育・木育・花育・心育」を
推進しています。「コメ作りを
通じた命の大切さ」「木製おも
ちゃで遊べる木遊館や遊歩道
造り」「可憐に咲く花から優し
い思いやりの心を育む」「ふれ
あいを守り伝える豊かな心を
育む」を目標に活動しています。

10月25日 北海道当麻町議会



当麻町での研修風景

研修報告

総務常任委員会



栗山町での研修風景

10月22日
くりやまちよう
北海道栗山町議会
議会基本条例が10年前に
制定され、地域に出向く議
会報告会を精力的に実施し
ています。昨年度は12会
場で延べ279人が参加し、
町政情報の提供や提言及び
議会活動に対する批判や意
見を聴く機会としていま
す。また議会活性化では、
議会モニター制度を導入
し、議会傍聴の感想や本音
で議員に意見が言える機会
を設け、さらに議会改革推
進会議を設置し、議員定
数、委員会数、議員報酬
額、政務活動費、議会改革
活性化策等に積極的に取り組
んでいます。この取り組みは
学ぶところが多く、大
変参考になりました。

先進2町を視察して、やは
り本町でも議会基本条例を制
定し、議会の活性化、情報共
有、住民の責務を明文化し、
定期的に検証する時期に来て
いると感じました。

15年前にニセコ町まちづく
り基本条例を制定していて、
基本的には栗山町の議会基本
条例と同様でした。内容の相
違点は、4年に1回町民参加
のもと見直しをしており、町
民自身が地域コミュニティを
守り育てる責務を明文化し、
努力義務を課しています。ま
た、情報公開では議会報告会
や意見交換会に積極的に取り
組んでいます。

10月23日 北海道ニセコ町議会



ニセコ町での研修風景

研修報告

産業建設常任委員会

11月13日

台湾 新北市



研修風景

県立松山南高等学校砥部分校デザイン科と姉妹提携をしている、新北市立鶯歌高級工商職業学校の陶芸科の授業視察をしました。台北の焼物は砥部焼と違い装飾的な方向性の作品で、きらびやかでした。また、生徒も職人先生と言われるプロより直接授業で指導を受けており、職業専門学校としての位置づけが確立されました。

11月14日

台湾 台北市



農林水果店にて



台北市内の農林水果店を視察しました。店では愛媛県産品が販売されており、特に、みかんは品質が良いので人気が高く、入荷すればすぐ売れてしまうとのことでした。ただ単価も高く、えひめ中央農業協同組合の箱に入ったMの秀品で、1個が300円以上しており、海外で高い評価を受けていることに驚きました。

台湾と言えば自転車というイメージがありました。台北市ではほとんど見かけず、公共交通機関以外では125ccのオートバイが主流でした。

研修報告

議会運営委員会

10月30日

おぢかちよう
長崎県小値賀町議会



研修風景

◇議会活動の活性化と議会基本条例を制定
議会改革として、議会も町民のために直接行動するため、全員協議会や委員会を積極的に開催しています。また町民の意見を直接町へと、町民参加型の議会を目指し、議会版総合計画を策定しています。そして



庁舎前にて（中央・立石議長）

これまでの議会改革の取り組みをまとめ、議会基本条例を制定しています。
説明を受ける中で、住民の期待に応えられる議会づくりや、分かりやすい基本方針、議会スタッフの協力と力量など、議長の意気込みが見えました。
議員の育て方や町民の意識向上、また議会や議員のフォローする体制づくりなどに取り組み、今後の議会が楽しみだと感じました。



外観

11月7日
兵庫県揖保郡
揖保健康衛生施設事務組合
火葬場『筑紫の丘斎場』
伊予市、松前町、砥部町の関係組合議員が、火葬場「聖浄苑」の大規模改修の参考にするため、「筑紫の丘斎場」の施設、管理運営等について、視察研修をしました。

施設概要

施設名称	揖保火葬場「筑紫の丘斎場」
所在地	兵庫県揖保郡太子町佐用岡732番地
管轄地	1市1町（たつの市・太子町）
敷地面積	12,658㎡
床面積	2,315㎡
建築年月日	平成15年3月20日竣工
施設内容	火葬炉6基、動物炉1基、霊安室1室、告別室2室、収骨室2室、炉前ホール、待合ロビー2か所、待合室（和室4室）、喫茶室、事務室



炉前ホール



ロビー



復興中の町の風景

11月20日
熊本県益城町
熊本県益城町役場仮設庁舎において、復興整備課長から土地地区画整理事業について説明を受けました。
近年、東日本大震災、熊本地震、台風や梅雨前線豪雨など、大規模災害が多発しています。被災自治体においては、復旧・復興に向けて甚大な財政支出や多大な労力が



益城町役場仮設庁舎

投入されており、益城町では開発公社が震災後の区画整理や復興計画において関わっています。

高齢者に優しい町を

― 議会とまちづくりを語る会 ―

10月19日、文化会館において33人の老人クラブ連合会の皆さんと厚生文教常任委員会で、議会とまちづくりを語る会を開催。

●高齢者の健康増進への取り組み

Q 健康増進に対する町の取り組みは。

A 保健センターでの健康づくりに力を入れる。

●運転免許自主返納者への支援拡大について

Q 支援を増やすことはできないのか。

A 支援は本年度の予算を超過したため、9月に補正予算を組んだ。増やせるよう今後も努力する。

●学校図書支援員の増員を

Q 子どもたちがもつと本を好きになるために支援員は大切な役割を担っている。現在1名の支援員を増員してほしい。

A 支援員の仕事内容を十分検討



し、必要であれば要望する。

●出産祝い金について

Q 祝い金はどうなのか。

A 子どもたちが学校に行く環境に予算を使った方がいいと思うが、意見は伝える。

●児童館館長の選出について

Q 麻生児童館の館長はどのように選出するのか。

A 担当課に確認する。

●高尾田交差点の信号を時差式に

Q 伊予方面から高尾田交差点を右折する場合、なかなか右折できない。時差式信号機にできないのか。

A 時差式信号がよいのか、右折レーンを作るのがよいのか、簡単な話ではないが、利便性のよい道路になるよう要望する。

●火災報知器について

Q 報知器の設置について広報や各種会合で周知し、設置状況を再確認してほしい。

A 過去には設置に対し補助があつたが、現況は確認する。

●災害時の電源確保について

Q 災害時の電源問題は。

A ガスを使って電気を作るなど、災害発生時の対策を考える。

●老人憩いの家のストレッチ器具の購入について

Q リハビリ器具だけでなく、ストレッチができる器具も設置してほしい。

A 担当課に要望する。

●障子山林道の進捗状況、登山道の整備について

Q 林道の進捗状況は。また登山道を付けてほしい。

A 台風等、影響があつたが調べて回答する。キャンプができる公園にしたいという希望があるので努力する。

●湯砥里館の利用について

Q 利用者が減少しているが、どのような対策をするのか。

A 民間企業に貸与、委託するなど方向性を検討。

※貴重なご意見を多数賜りましたが、一部抜粋しての掲載になっています。

第59回 四国地区町村議会議長会研修会

= 平成30年10月18日 =



高知市で開催された、第59回四国地区町村議会議長主催の研修会に参加しました。
ジャーナリストでノンフィクション作家の門田隆将氏並びに政治評論家の加藤清隆氏の講演を聴講しました。
当日、会場において、議会議員として20年の永きにわたり、地方自治の振興発展に寄与された功績により、砥部町からは、井上洋一議員が表彰されました。



3月定例会

❁ 本会議
❁ 委員会

傍聴してみませんか

詳しくは議会事務局へ
☎ 962-2248

募集

議会とまちづくり
を語る会

町内の団体、グループ、
地域の皆さんからの応募を
お待ちしております。

発行 砥部町議会
編集 〒791-2195
印刷 岡田印刷株式会社
議会広報常任委員会

責任者 議長 松崎 浩司
愛媛県伊予郡砥部町宮内1392番地
TEL 089-962-2248
FAX 089-962-5473



編集作業中

(右から) 政岡洋三郎
柿本 正
菊池 伸二
原田 公夫
佐々木公博

今年度の議会だよりの編集作業が、2月1日発行号で終わりになります。
今号で委員は交替ですが、大変忙しい1年でした。委員の皆さんお疲れ様でした。

編集後記